

新居佑

挿絵 コザ



# 姉騎士会長アキラ

背徳の快樂接待

試し読み版

18  
未済

二次元ドリームノベルズ

第一話	学園存続の危機 恥辱のロストヴァージン	006
第二話	犯されるプライド 屈辱の校内アクメ	056
第三話	闇の淫行オークション 刻まれる肛虐快樂	073
第四話	堕ちていく姫騎士 裏切りの輪姦アクメ	121
第五話	姫騎士会長、完全屈服 守れなかった学園	173
第六話	敗北の末路 姫騎士たちの快樂牧場	223
最終話	覚めた悪夢 真実のエクスタシー	246

# 登場人物紹介

す おう

## 蘇芳アイラ

歴史ある聖アザリア学園の生徒会長。事情あって理事長も兼任中。国内でも有数のS級魔法騎士資格者で皆から慕われている。通り名は『幻惑のフルキューレ』。

かすが たくみ

## 春日巧

魔法が苦手でお世辞にも強いとは言えない一年生。純粋で優しい心の持ち主でアイラの初めての恋人となった。愛らしいルックス。

こ であら じん ぞう

## 小寺仁三

有名な政治家。悪い噂が絶えないがそのすべてを揉み消すほどの権力がある。魔法騎士を育成する学園を手に入れたのは自分の利権のために利用しているという。



ズチュドブウウツッ！ ブチブチイツッ！

「ひぎいっ、くあっ……んんんっつ！」

男の太い逸物のサイズに合わせ、肉ピラが左右にグニリと広がり、醜い男との結合部が、いやらしく拡張されていく。

同時に薄い処女膜が、巨大な牡幹によって無残に散らされていく痛みに、アイラの心が悲痛に暮れる。

（あ、うあ……ううっ。た、巧のための処女が……っ！ ごめん、ごめんなさい巧っつ！）  
謝っても謝りきれない裏切り行為に、きつく閉じた瞼の奥に、小さな水の滴が湧いてしまふ。

しかしそんな女騎士の感傷を吹き飛ばすかのように、初心な膣道に突き入れられた魔性の肉根が、淫らな脈動を開始する。

「そう嘆くな。処女をなくしてよかったと思える快感を、今すぐお前に刻んでやるぞ、ワルキューレっ！」

ズチュツッ！ ジュボツツ！ ズボズボオオツ！！

一度アイラの腰に食らいついた仁三のピストンは、初老のモノとは思えないほど力強く、荒々しいものだった。

しかもただ力任せに突き込むだけでなく、アイラの膣の感覚を確かめるように、子宮の

奥から陰唇の入り口まで、蠢くサーモンピンクの肉ヒダを、丹念に隅々まで擦り上げてくる。

「ふぐうっ！ んんっつ……あつあつ、んふううっ！」

（な、なにこれっ!? これが本当のセックスっ!? 私なんでこんなに……っ。ア、アソコが疼いてえっっ!）

甘い声だけは漏らすまいと、とっさに右手で口を覆ってみせるが、肉棒が挿入された聖なる女壺から、一突きごとに迸る桃色の電撃に、このまま溶けてしまうのではないかと錯覚するほど、下半身が熱く煮えたぎってしまう。

「おおっ、初めてでこの締まりっ！ 外見だけでなくマンコも超一流のようだな。悦べ、アイラ。お前には魔法騎士以上に、金を生む牝豚の才能があるぞっ！」

「だ、誰がそんなことっ。これは学園のために……あつ、んひっ……ふぐうううっ!!」  
膣の奥で爆発するのは、巧のペニスをしゃぶったときのような、甘く幸せな心地よさではない。

仁三が言ったように、まるで誇り高い騎士から、一匹の発情した獣へと墮落していくかのような……それで構わないと思える、暴力的な快感が、高潔な姫騎士の理性に刷り込まれていく。

（あ、頭がおかしくなるわっ。こんな男に私、セックスの悦びを植えつけられてしまう……っっ!）

小太りの男は、腰をズコズコと動かしながら、剥き出しの爆乳を両手で揉みしだいてくる。しかもすでに勃起していたピンク色の果実を、左右交互に口に含み、舌を絡ませ、時に前歯でコリコリつと、強い刺激を与えてくる。

「く、ふうつつ！ んっ、あっ……はぁんっ！」

乳首から放たれた甘美な閃きに、唇を噛んで我慢していた女の本音が漏れ出てしまう。

しかもその嬌声は、巧のときよりも熱く、激しい牝の音色を奏でている。

「ふふ、素直ないい声が出てきたな？ お前はこれから、そのけしからん身体を売って、金を稼ぐのだ。騎士のプライドなど今のうちに捨てておけ。さあ、子宮の底から思い切り啼いてみろっ、アイラあっ！」

ドチュンツツ！ ブチュツ、ズボオオオツ！！

「あふうつつ！ そこしきゅ……おっ、ああっ……んひいいいっ！！」

仁三の体重を思い切り乗せた一突きが、アイラの若い子宮口を砲弾のように重く打ち抜いてくる。

太いペニスの亀頭が、子宮の入り口に当たると、ブチュリッ！ と媚肉の凹む感触が理性を淫らにかき乱し、同時に計り知れない快楽電流が脳髓全部を弾けさせる。

（い、いやあっ！ 子宮気持ちいいっ。こんなのって私知らないっ。ダメえ、我慢んっ。身体は手放しても、心は巧のモノよおっ！）

つい二時間前までは、この部屋で愛する恋人と、至福の時間を過ごしていたはずだった。

しかし今、全く同じ部屋で、心から嫌悪する男に、処女を散らされ犯されているというのに、アイラの成熟した女体は、男とのセックスに強い悦びを感じている。

「んちゅ、んんっ……はあ、んふううっ。あっ、あんんっ！」

清楚なアイラの牝の本能を無理やり目覚めさせるかのような、突き込みと同時のペロチユーキスに、頭が甘く痺れてしまう。

感じたことのない快楽の昂りに、男の臭い息を心地よく感じてしまう変態的な感覚が、子宮の奥から湧き上がってくる。

意志を離れて勃起してしまった乳首を指でつねられ、熱く滾りを増す肉茎で、初々しすぎる膣壁を、おかしいくらいに擦り、突き上げられていく。

（お、奥気持ち……あぁっ、私のアソコが広がるっっ！ こんな男のチンポのカタチ、巧のより先に覚えさせられてるわっ！）

巧への不誠実と高まる未知の快感への恐怖から、今すぐこの場で仁三を、魔法で弾き飛ばしたい感情に何度も襲われる。しかしそれだけではできなかった。

学園を、巧の夢をつぶさせるわけにはいかない。今はこの快感と屈辱に耐えきることが、生徒会長である自分の使命なのだ、強く理性に言い聞かせる。

「心ではワシを憎んでいるのだから、マンコはさつきからブルブル震えつばなしだなあっ!? イクときはちゃんとイクと言え。そうすれば『連中』から金を弾んでもらえる。さあ、アイラっ。牝豚らしく派手にイっつてしまえっ！」

男がニヤリと笑ったと同時に、膨れ上がった亀頭が子宮の壁をゴチュゲンソツツ！ と勢いよく押しつぶし、先端から溢れんばかりの牡ザーメンを、膣内にぶちまける。

ドブドバアアツツ！ ゴボオオツツ！！

「そ、そんな……中に……!! あ、ひいひいっつっ!!」

（こ、こんな……っ。す、すごっ!! 我慢できない……っ。巧、私ひいひいっ!）

一切の情けなくぶちまけられた精液の熱さと気持ちよさに、日本人離れしたアイラのグラマラスボディが牝の肉欲に呑み込まれていく。

子宮を満たす中出し精液の快感と巧への背信感情が、美麗魔法騎士の牝を完全に目覚めさせ、アイラを恥辱の屈服アクメへと誘う。

「あつ、あとおおっ!! イク……アイラ、イキますうううっ!! イクウウウツツ!!」

眉目秀麗にして高潔、日本屈指の実力を持つ姫騎士が、憎き男に命じられるままに——巧の前では恥ずかしくて言えなかった、生まれて初めての絶頂淫語を、生徒会長室いっぴいに響かせる。

下半身で爆発した劣情のマグマに導かれるまま、アイラはその豊満な女体を、ビクンツッ! ビクンツツ! と狂ったように大きく淫らにわななかせる。

「あ、あふうう……っ。はあ、ああつ」

白い素肌はおろか、誇り高い制服を大量の白濁で汚しながら、深い深い絶頂の余韻の中、アイラは、大きく息を吐きながら、ビクビクと全身を淫靡に震わせ続けた。



「え？ ……う、うん。そうだね。ごめん、僕が浮かれてたよ。アイラは、僕が立派な魔法騎士になることを、応援してくれてるだけなんだよね。アイラだって、この一カ月はずっと生徒会や騎士の仕事で忙しいみたいだし。それに……」

言った巧は、長身のアイラの美貌に手を伸ばし、そつと額に手のひらを当ててみせた。

「な、なにを……巧!!」

「やっぱり。アイラ、ちよつと熱があるんじゃない？ 最近どこか顔が赤いから、気になってたんだ。半人前の僕が言える立場じゃないけど、アイラにはいつも元気でいてほしいから」

「……………っ」

奥手だが、ちゃんと自分のことを見てくれている、その優しさにアイラの胸が幸せでキユウツと、きつく締めつけられる。

アイラも実は最近知ったのだが、巧は意外とモテるらしい。ルックスは愛らしいほうで母性をくすぐるタイプだし、この優しい仕草や気遣いが女子の間でも結構人気なのだといふ。今はまだだが、将来二人の仲を公表するときがくれば、素敵で幸せなカップルとして、誰からも祝福されるはず——。

と同時に幸福とは真逆の感覚——痛烈な背徳感に、制服のミニスカートの下に隠れた、清らかな女の園が、妖しく熱い疼きを覚えてしまう。

「あ、ありがとう巧。でも私は大丈夫よ。う、く……だから、あなたは早く帰りなさい。」

大丈夫よ。私はこんなことで音を上げたりしないから、ね？」

巧に指摘された頬の桃色が、股間を走る甘い感覚につられるように、濃い朱色に染まっ  
ていくのがわかる。

アイラは意識せずとも変わっていく自分を、これ以上、巧に見られたくないと強く思い、  
今できうる限りの笑顔を見せて、大切な彼氏を安心させようとした。

「……うん、わかったよ。アイラは強いもんね。でも、無理しないでね。僕はアイラの彼  
氏なんだから、いつでも頼ってね、アイラ」

そう微笑みながら、巧は一人学生寮のほうへと駆けて行つた。

だが純粹無垢な、愛らしい後輩は知らない。

巧の後ろ姿が完全に視界から消えるのを確認すると、アイラはグツグツと熱く煮えたぎ  
る股の間の秘穴を、スカートの上からきつく押さえ、凜とした生徒会長とは思えない甘い  
吐息を漏らしながら、近くの壁にその身を預けた。

「はあ、あうっ……くんっつっ！」

頬を真っ赤に染め、切なそうに顔を伏せながら、震える唇を噛む。

むちりとした左右の太腿を、純白のショーツごといやらしく擦り合わせて、そこから生  
まれるズキズキとした、明確な牝の快感の脈動に、ブルルッと身体を震わせてしまう。

一カ月前のあの日から、子宮に挿入された淫蟲が吐き出し続ける強力な媚毒によって、  
アイラの麗しい女体は、常時発情中の牝犬も同然なほど、快楽を求め、疼いてしまうよう、

改造、調教されつつあった。

(こ、こんなこと巧に知られちゃいけないわ。この学園は、巧の夢は……私が一人で絶対に守ってみせ……んんんつつっ！)

ブチュウウツッ！ 不意に女芯で放たれた濃い媚毒官能の淫撃に、切れ長の瞳をきゅっと閉じて、唇をきつく噛み締めてしまう。

そう、巧は知らない。決して知られてはならない。

愛する初めての彼女——凛々しい先輩であり、騎士としての目標のアイラが、学園と彼自身を愛するがゆえに、下劣な悪党の姦計にハマり、一カ月もの間、人知れず、心も身体も醜い男から、子宮への直出しを含む、淫らな肉体調教を受けていたことを。

(アソコが熱い……。ショーツが朝からずっと濡れて……。許して巧。でも私、ま、負けないわ……っ)

そう強がるアイラのスカートに収められたスマートフォンが、不穏なバイブレーションをおこす。不躰に送られてきたメールを確認し、アイラの美貌が険しくなる。

(い、今からですって……。っ!? と、とうとうこのときがきてしまったのね……)

はあっ……と、憂鬱なため息をひとつ漏らしたあと、アイラは決意を固めるかのように、いつもの凜とした表情を作り、人知れず学園の裏門から、外へ出る。

そう。これくらいの快感や恥辱に屈してはられない。一カ月に及ぶ官能の下ごしらえが済んだ今日この日から、アイラは数十億はくだらない多額の負債を抱えた学園をたった

数カ月で救済するために、自らの身体を売って、お金を稼がなくてはならないのだ。

学園で巧と別れてから、五時間後――。

アイラが今いるのは、数十年前、日本が高度経済成長まったただ中であつた頃、建築された、洋式の迎賓館だ。

都内とは思えない広大な敷地に、日が落ちてなお美しい白い壁面で覆われた、バロック調の巨大な館が雄雄しく建っている。

つい十年ほど前までは、数々の要人を迎えていた迎賓館も、今ではその役目を終え、日本の最大野党・未来党の党首である小寺仁三個人の所有物として、夜な夜な豪華なパーティが開かれている。

『おおおつつつ!!』

アイラがその美しい姿をゲストたちの前に現すと、ホール中から大きな歓声が上がった。しかしそれが自分を賞賛する、好意的なものではないことは、アイラ自身、痛いほどわかつていた。

(くっ、これが……小寺が主催する『闇のパーティ』……なのっ)

それはアイラが魔法騎士仲間の中で、噂程度に聞いていた淫らな宴の異名だった。

ホールは全体的に薄暗く、妖しい雰囲気醸し出すスポットライトが、アイラを照らす。ホールに現れたアイラの視線の先には、スーツ姿の若者から老人までが、妖しいデザイ

ンのマスクをつけて、こちらをニヤニヤと見つめている。

男たちはみな仁三と同様、日本のVIPでありながら、悪に手を染めた人々に他ならない。そしてこの迎賓館は、調教した女性たちを高値で取引する、淫らな裏オークションの会場というわけだ。

ここに商品として売りに出された女たちを、集まったゲストたちがオークション形式で、一晩だけ購入し、犯す。買われた女たちは、法外な大金と引き換えに、文字通りゲストたちの欲望の捌け口にされるのだ。

もし噂が本当なら、S級魔法騎士の誇りにかけて、必ず取り押さえてやろうと思っていた現場に、まさか自分が『牝の商品』として、こんな下衆な連中の競りにかけられるなんて、つい一カ月前までは、微塵も思いもしなかったことだった。

「お、お集まりのゲスト様……。くっ、商品番号3番……。す、蘇芳アイラで、ございます……。ど、どうか。今夜は卑しいめ、牝である私を、高値で買い取ってくださいませ……。っ」  
控室で仁三に教えられた自己紹介を、たまらない恥辱にまみれながら、アイラは喉の奥から搾り出すように口にした。

そして淫猥にライトアップされたその姿は、普段の凛々しい制服姿ではなく、仁三が用意した極小のビキニの着用を強制された、とても誇り高い騎士会長とは思えないものだった。

水着はライトに妖しく映える艶やかな黒。しかもアイラの瑞々しい若肌を覆う面積は、

限りなくわずかなものでしかなく、胸の部分はわずかでもずれば、穢れのないピンク色の乳輪が、男たちの前に露わになってしまおう。

股間部分はさらに小さく、クロッチはアイラの尻のワレメにきつく食い込み、仁三によってキレイに剃られた屈辱のパイパン姿を晒してしまう。

どう見ても露出好きの痴女にしか見えない水着姿にあつて、少女の首元には聖アザリア学園のネクタイが背德的に締められている。

さらには自身が本物の姫騎士——蘇芳アイラであることを示す生徒手帳とS級騎士の身分証明書の顔写真部分を開いて、男たちに確認してもらおう屈辱まで味わわされる。

(くっ、あうっ……見ないで。こんな姿……あつ)

なによりアイラの心を辱めているのは、臍の部分に刻まれた黒い蝶の紋様だ。それは闇魔法の系統において、『発情』を意味する呪いの印である。

幻惑のワルキューレの二つ名で、マファイアや悪徳政治家からも恐れられる魔法騎士の身体が、すでに快樂に侵されている事実を、こんな下衆な男たちに知られたくはなかった。

「すごいっ。本当に、あの『幻惑のワルキューレ』が牝オークションの商品につ！」

「公国の血筋を引いた姫騎士がなあ。小寺様も意地の悪いことを考えなさる」

数少ないS級魔法騎士であり、眉目秀麗。さらには王族の血族であるアイラのごとは、政財界にも広く知れ渡っていた。

そして彼らはみな、すでに仁三に、アイラの事情を聞かされているのだろう。

魔法騎士という、正義の立場にあるアイラが、金策に悩み、あろうことか悪人たちに向けて『自分を買ってほしい』と口にしたことに、歪んだ心を持つゲストたちの唇が卑猥な笑みを形作る。

(くっ、お金のためとはいっても、こんな連中に……っ)

アイラは感じたこともない圧倒的屈辱と不条理に歯を食いしばり、なにもできない自分の現状を嘆く。

政財界のVIPが揃うだけあって、ホールには十人をゆうに超えるSPたちが銃を懐に備えている。

しかし彼らがいくら手練れでも、S級魔法騎士であるアイラが本気を出せば、この場をたった一人で制圧し、仁三以下の連中を捕えることは可能だろう。

だがその後の学園、そこに通う生徒たちはどうなるのか。仁三を逮捕しても、債務がなくなるわけではない。借金を返し終らない限り、また別の悪党の魔の手が、聖アザリア学園に伸びてくるだけだ。

不意に、ホールの照明が一段暗くされ、心を淫靡に昂らせるメロディとともに、ステンレス製の鈍い銀色を放つ一本のポールが、水着姿のアイラの目の前に持ち運ばれ、しっかりと床と天井に固定される。

ゲストたちが、待ってましたと言わんばかりの歓声と拍手を送り、薄暗くなった部屋の中、眩しいライトがポールの傍に立つアイラを淫らに照らし出す。

「さあ、教えたとおりに踊ってみせろ。この連中はお前から見れば、ワシと同じ下衆の極みなのだろうが、みな札束をゴミのように扱える金持ちどもでもある。気に入られば、相当な額が稼げるぞ、よかつたなあ、アイラ」

ゲストたちと同じマスクをつけた仁三が、頬を紅く染めているアイラの耳元で囁く。同時に、小瓶に入った透明な媚薬入りローションを、淫猥な水着姿のアイラの身体の隅々にまで、その醜い皺の入った両の手のひらで塗り込んでくる。

「ま、また媚薬を……あ、ふんっ……あぁっ。く、ふううっ！」

汗だけでなく、塗り込められたローションによつて、抜群のスタイルを持つアイラの女体が無理やり興奮させられ、一層淫らなテカリを帯びていく。

こんなことを仕向けた醜い男に對する怒りが湧いたが、もう逃げることはできない。

（わ、わかつているわ……。学園を……。巧の夢を守るためなんだから……。こんな連中に買われるくらい……っ）

守るべき大切な人を想い浮かべ、アイラは覚悟を決めると、黒いマイクロピキニを身に着けたまま、目の前に備えつけられた銀色のポールへと、緊張と羞恥でわずかに震える手のひらをかける。

そのまま右足を、できるだけ艶めかしくゲストの目に映るように、ゆっくりと百二十度の高さまで上げていき、むっちりとした太腿を妖しく見せつけながら、直径五センチほどのポールに右足を絡みつけていく。

同時に、極小ビキニによってかろうじて隠されている、魔法騎士の魅惑の陰部をクイツとゲストたちに突き出して、普段クールな美貌に、慣れない愛想笑いを浮かべてみせた。

「私、S級魔法騎士の蘇芳アイラは、ゲスト様のお眼鏡にかなうよう、精いっぱい、み……淫らな牝淑女ダンスを披露させていただきます……っ」

恥辱の言葉を口に出しながら、アイラは恥ずかしさと悔しさで、心が弾け飛んでしまいそうだった。

決して本心から言っているわけではない。けれど自分を高く売らなければ、曾祖父の代より続く、聖アザリア学園は、性根の腐った仁三のものとなり、騎士とは名ばかりの悪党たちを育てる機関になってしまう。

そしてそれは、愛する巧の『立派な魔法騎士になり、人々の役に立ちたい』という、純粋な夢をも壊してしまうことになるのだ。

高潔で知られるアイラの、見るからに悔しげな表情と仕草に、ゲストたちは、静かな嘲笑を漏らし、ポールに片足をかけ、大股を開いた水着姿の女騎士を見つめる。

ゆうに百を超えるその視線の一つ一つが、アイラのプライドを傷つけ、同時に蔑まれることへの異様な感覚を、全身から湧き出る汗のように、本人の知らぬ間に、ゆっくりと肉体へ刻み込んでいく。

(くうっ、こんな連中に見られ……あぁっ、お願い。もつと見て……っ！)



「ははっ、たった一週間ほどで、もう完璧にドラッグの虜だな。ここまで堕ちれば、あのワルキューレもかわいい女だぜ」

「初めに罠に嵌め、躰たワシに感謝しろよ。しかし最高の豚嫁だな。孫の顔が早く拝みたいわ、なあ、アイラ？」

「は、はいいいっ！ あなたあ、お義父様ああっ！ 変態新婦の小寺アイラは、しつかりはりゃんで、立派な赤ちゃん何人でも産みましゅっ！ おおっ、らからもつろ、ズゴズコ突いてっ！ 強化デカマラで、アイラの調教二穴、苛めぬいてくらひゃいいいっ!!」

そこにいたのは、まぎれもない姫騎士会長、S級騎士の蘇芳アイラだった。

アイラが身に着けているのは、彼女が誇りとする聖アザリア学園のものではない。黒を基調としたビキニスタイルの水着は、しかし本来隠さなければいけない、両胸と股間のデルタ地帯が、卑猥すぎるハート型に抜かれてしまっている。

水着というよりも、紐といったほうがふさわしいその衣装は、少女が格式ある家系の令嬢であることなど、一切感じさせることがない変態的なモノだ。

全身に、映像で見たクスリの注射痕が残っており、臍とお尻には淫猥な魔術刻印が、はつきりと巧の瞳に飛び込んでくる。

ふわりとした、触り心地のよい金色の髪はおろか、身体の隅々に無数の勃起ペニスがあてがわれている。すでに何度ぶっかけ射精を浴びたのかわからないほどに、アイラの美しい肌は、乾いた白濁と大粒の汗にまみれていた。

「おほおおっ！ 二穴しえつくしめ最高っつ！ んおおっ、クルツ、まらギメますっ！！  
キメセクアクメ、仁三様と洋介様のデカマラチンポで、アイラ、イグウウウウツツ！！」  
テレビで見たことのある野党幹事長・小寺仁三。そして先ほど映像の中でアイラを犯し  
抜いていたその息子、小寺洋介。

肌黒で筋肉質な息子にバックから尻穴を。でっぷりと脂ぎっている父親に騎乗位で膣奥  
を犯されていたアイラが、映像の中と同様の、妖艶で変態的な淫語を叫びながら、その肉  
感的な女体を、ブルンツ！ と大きく震わせ、白目を剥いて、二穴同時アクメへと昇りつ  
めていく。

そしてその周りには、見知った裸体姿の男子たち十数人が、完全勃起したペニスを、ブ  
ロンドの少女へと向けている。彼らは皆、巧と同じ聖アザリア学園の生徒たちだ。

「あ、憧れの生徒会長のフェラ、気持ちよすぎますっつ！」

「たまんねえっ。あのアイラ会長の生おっぱいっ。小寺新理事長バンザイツつ！」

「んふうっ、そうよおっ。聖アザリア学園の生徒ならあ、んじゅぶっ、すちゅううっ！  
女騎士の輪姦レイプ経験くらいないと、将来、お義父様に仕える立派な魔法騎士にはなれ  
ないわっ。おっほおおっ！ 生徒たちの童貞チンポ、おいしすぎてたまんなあいいっ！  
まらイツグウウンツツ！！」

アイラは周りを囲む生徒たちの勃起ペニスを、実においしそうに啜っていた。それだけ  
でなく、すでに限界まで固く勃起している二つの乳首を、乱暴につまませ、今にも千切れ

んばかりにグイイッ!! と引つ張られながらの、淫ら極まる被虐連続絶頂に突入している。「あ、アイラ……。キメセクアクメって……。それにキミたちは……。じゃ、じゃあさっきの動画は……。まさか……。っ」

巧が温室に入ってきたことに気づく余裕すらなく、アイラの股間から、クスリによって限界まで熟成された牝の発情臭を帯びた淫蜜がプシュオオオッ! と勢いよく噴き出される。

初めて直に見て、そして感じる恋人の本気絶頂に、巧は唇を真つ青にしながら、ただ非情な現実を見つめ続けることしかできなかった。

「あ、あへえああつ。らめえ、もつとイキたいつ。あなたあ、おクスリちようだいっ。どうしようもない肉欲ジャンキーのアイラに、もつと気持ちいいドラッグ、お注射してくださいいいっ!」

「くく、まあ待てアイラ。ほら、お前が大好きだったガキが、そこに来てるぜ? あいさつくらいしてやれよ。元恋人としてなあ」

いまだバックで、アナルに極太怒張を突き入れたままの洋介に促されるように、アイラは、呆然と立ち尽くす巧に、そのうつとりと快楽に蕩け堕ちた碧眼を合わせた。

「たく、みいっ? おひ、巧なお?」

その声は、巧の耳に残る凛々しい鈴の音ではなく、すさまじい絶頂の余韻に、心までも浸りきってしまった牝の音色だった。

「ア、アイラ、僕だよ。巧だよ？ どうして……きみが……。お前たち、くつつ、うおお おおっつ！」

穢れひとつなかった少女の、身体中に浮かんだ淫らな淫呪の痕に、巧の感情が爆発する。最愛の女性をこんな目にあわされて、男として黙っていられるわけがない。

巧は腰に下げたサーベルを抜き放ち、これまで修練を重ねた魔法を刃に宿らせた。S級のアイラには及ばないものの、十分トップレベルといえる、A級騎士である自分がこんな悪党たちに、生徒会長であるアイラを犯す、裏切り者の生徒たちに負けるはずが――。

「だめよお、たくみいつ。才能のないゴミみたいなあなたが、私の家族ご主人様に逆らっちゃあ」  
「なっ、アイ、ラ……？ うあああっつ！」

アイラの尊い性を犯す小寺親子を叩き斬ろうとした巧は、しかし彼が助けようとした金髪の堕ちた姫騎士によって、壁際まで吹き飛ばされ、身動きが取れないほどのダメージを与えられてしまう。

巧に攻撃を加えたアイラの表情は、まるで悪の女幹部のように、妖艶な笑みをたたえていた。身体には、彼女が自ら刻んだのだろう『絶対服従』の幻惑魔術の魔法陣が、妖しげに浮かび上がっている。

それはアイラが本当に、心までこの親子に屈服してしまっていることを、巧に容赦なく突きつけてきた。

「よくやったぞ、アイラ。ぐふふ、巧だったな。お前ごときが、A級騎士だと？ 愚かだ

なあ。そんな称号、ワシの戯れに決まっておるわ」

「もしお前が本物の騎士なら、アイラを寝取られることもなかったかもしれないねえのにな？  
くははっ、こんな上等な肉便器、お前の租チンにやもつたいねえ。アイラだつて、俺たち  
親子のデカイチンポで犯されるほうが幸せだよなあ、ハニー？」

巧を完全に見下しながら、洋介がパンツ！とアイラのお尻に腰を激しく打ちつける。  
「のっほっおおおんっ！ 当然よ、ダーリンンっ。巧、もうなにもかも遅いのよ。わらひ、  
完全にキマっちゃってるの♪ んちゅうっ、じゆるるっ！ ングウウウッ！」

あれほど熱い愛情を示してくれたアイラは、巧を冷たい視線で一瞥すると、バックで洋  
介に犯されながら、自分が跨っている仁三の唇と下品なペロチュー口づけを交わしながら、  
何度目かの牝豚絶頂を見せつけてしまう。

「ほん、とうに……アイラ……。そんな奴らの女に……。僕はキミのことを想つて必死に。  
僕はあああああっっ！」

巧は制御しきれないほどの悔しさと情けなさを、声に出して吐き出した。アイラを寝取  
られ、あげく騎士の称号さえ、小寺親子のアソビでしかなかった事実、少年の純粹だつ  
た牡のプライドが、ズタズタに切り裂かれていく。

「巧い、私、本当はずっとエッチなことがしたかったのよ？ S級騎士や生徒会長でいる  
ことつて、すごく疲れるの。私は完璧な人間じゃないわ。年頃の女の子なのっ。あなたが  
もつと強引にきてくれさえすれば……うふふ、だからこんなことになっちゃうのよ♪ ん

ちゅうっ、むちゅっ、んぱあっ」

アイラは妖しく、魔女のように微笑むと、黒い変態ビキニを着て、輪姦されている自分を見せつけるように、巧の学友たちの勃起ペニスをしやぶった。

肉棒から唇を離すと、アイラの涎と、顔見知りの生徒の濃い先走り汁が、ネットリとした淫猥な糸となって、床に垂れ落ちていく。

「ち、ちがう。僕はアイラのことを思って……アイラは僕の憧れで、そんなエッチなこと頼めるわけ……っ」

「お義父様たちは違ったわ。潔癖を気取った私を無理やり調教して、私を自由にしてくれたのっ。そうよ、私は真正のドM女だったの。ああっ、犯されるのって幸せだわ。ヤク漬けの、変態肉便器に改造してくれた、洋介様を私は心の底から愛しているのっ！」

アイラのマゾ豚宣言に、巧の心が完膚なきまでに打ち碎かれる。もう彼女との関係は修復のしようがない。自分の力では、決してアイラを取り返すことはできないのだと、決定的に悟らされる。

「ふははっ、今度は動画でなく、生で見せてやるぞ、寝取られ坊主。憧れの元カノのキメセク中出しアクメをなあっ！」

「ケツの中出しもまだだったよな？ よおく見とけよ。こいつがこの女の望んだことだっ！」

ズブズブウウッ！ ズチュンツッ！ ズドンツッ！ ズボオオオツッ！！

アイラの言葉に応じるように、仁三が魔性の薬液を、快樂の虜に墮とした小寺親子が、息を合わせるようにして、少女の二穴を犯し抜く。

「くほひいいいっつ！ キタギタアツツ！ おクスリいっばいっ、おおっつ、しゅごい  
かんじるっ！ チンポっ、チンポっ、お願いしましゅうっつ！」

かつて二人だけの空間だった温室に、墮ちた生徒会長の、野太い嬌声がこだまする。

クスリをたっぷり注入されたアイラは、お預けを解放された飢えた犬のように、舌をハッハッと垂らしている。

眉は完全にハの字に垂れ落ち、見ているだけで射精してしまいそうなほど、エロティック極まる淫らかな顔を、野獣と化した男たちに、惜しげもなく披露していた。

「くははっ、イイ牝だぜ。学園もこいつが無償で譲渡してくれたし、最高だな親父？」

「あとはコイツをさらに躰け、ゆくゆくは日本そのものを……。がははっ」

「は、はいっ！ アイラはなんれもしまひゅうっ！ チンポとクスリのためなりや、誰だっけうらぎりゆのほおっ。おほおっ、お義父様のチンポが子宮にいっ！ ダーリンのデカマラと、ダブル子宮ファックっ、ギモヂイイれふううっつ！！」

膣と腸、二方向からのペニスが、同時に子宮をゴズンゴズンッ！ と叩いてくる快感に、アイラは、巧に見せたことのない恍惚の表情をして応える。

細胞に刻まれた、生涯消し去ることのできない淫呪によって、剥き出しにされた、アイラの膣と腸の性感を、巧のモノとは比べるのもおこがましい巨大肉棒が、グボグボッ！

とすさまじい勢いで刺激している。

巧がまだ触れたことすらないアイラの二穴は、仁三と洋介の馬ペニスがズチュズチュと激しく出し入れされる度に、グパアッ！ と拡張され、清廉だった彼女のイメージとは程遠い淫猥さを見せつけてくる。

「蘇芳会長が実はこんな変態ビッチ女だったなんて、ほんと幻滅ですよっ！」

「この裏切り者の肉便器めっ！ 学園中の生徒で輪姦してやるっ！ 啼けよ、牝豚あつ！」  
「んちゅっ！ ずぶぶっっ！ おほおっ、そうよっ！ わらひは淫乱ドM生徒会長なう！ 輪姦うれひいっ……あなたたち、もつとわらひを汚しなしゃあいっ♪」

周りの学友たちも、牡の本能を剥き出しにして、高嶺の花でしかなかった生徒会長の髪や脇に肉棒をこすりつけ、運のいいものはアイラからその柔らかい掌で、直にペニスを扱ってらっている。

仁三と洋介の腰に合わせ、きわどい水着姿のアイラの女体が、野性的にグイグイと前後上下に動く。豊富な胸がタプンタプンッ！ と刺激的に揺れ、きつく尖った桃色の肥大ニップルごと、仁三の掌で、ムニムニ、ギチィィッ！ と牡欲の赴くまま、乱暴に揉みこまれている。

未来を囑望された姫騎士から、色欲に沈んだ『幻滅のワルキューレ』へと墮落した姿を、巧に見られていることが、アイラを強く悦ばせてしまっていることは確実だ。

「おほおっ、もう限界いっ！ すっごいのきましゅっ。だから出してっ。ダーリンも、お

義父様も、みんなもっ！ うふふつ、巧もザーメン出しなさいっ！ みんなわらひに、ぶっかけてくらひゃいいっつ!!」

「いいぜっ、何度でもぶちまけてやるっ！」

「孫だけでなく、洋介の妹も孕んでもらうとするかっ！」

アイラの切羽詰まった嬌声につられるように、小寺親子を含む、アイラを犯す男たちの腰の動きが、ラストスパートを迎える。

ドブウオオオツツツ！ ブバアツツツ!!

「おっひいっつ！ れてるうっつ！ イグイグイグっつ！ 牝豚姫騎士会長、イッグウウウツツツ!!」

黒い変態ビキニ姿のアイラに、四方八方から大量の牡汁が発射される。生徒たちの羨望の的だった姫騎士会長の女体が、あつという間に、ドロドロの白濁にまみれていく。

「んほおおおっつ！ しにゅほろギモチイイヒイッツ！ 元カレの前れキメセクアクメっつ！ まらヒグウ！ ザーメン、いっばいらいひゅき！ イグウウウウウツツツ!!」

アイラは小寺親子と学友たちの大量牡汁を浴びながら、完全に白目を剥ききり、舌をだらしく出したまま、猛烈なヤクギメ絶頂へと昇りつめていった。

「あへああっ……あはっ。しあわしええっ。これがほんろうのわらひなるお……わかったあ、巧い……」



この続きは製品版をご購入の上、  
お楽しみください。

編集・発行

**株式会社キルタイムコミュニケーション**

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7ヨドコウビル

TEL03-3555-3431 (販売) / FAX03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©KILL TIME COMMUNICATION Printed in Japan

**<http://ktcom.jp/>**

ライトノベルのドキドキじゃ満足できないアナタに送る官能小説雑誌!

妄想最前線を疾走する非現実系・不思議Hコミック誌!

正義感に燃える少女達をたっぷり陵辱! ヒロインのピンチ満載!!

【偶数月】  
隔月発売  
2-4-6-8-10-12月

【奇数月】  
隔月発売  
1-3-5-7-9-11月

【電子版】  
毎月配信  
書籍版は奇数月  
発売!



二次元  
**ドリームマガジン**  
DREAM MAGAZINE

コミック O M I C  
**UNREAL**  
アパパル

正統のヒロイン  
**姦獄ファイル**

あなたのキモチイをお手伝い! キルタイムのアダルトコミック誌  
全国の書店・各種通販サイト、およびダウンロードなどで好評発売中!

電子書籍版も  
好評発売中!

二次元ドリームノベルズ

3D 美少女 3D  
リアル小説

日常に密着したエロス、リアルな舞台設定で送る官能小説レーベル!

戦うヒロインを屈服させちゃうかなり過激な陵辱系ライトノベル!

フリタム120%!? シヤルにたられたいドキドキ★ラブ!

女刑事美優  
悪魔は自らの身体で...

リアルドリーム文庫

あとみつく文庫

呪詛喰らい師  
キルタイムコミュニケーション小説シリーズ

# あなたはどのタイプの?

二次元ぶち文庫

ハルク

あの人気作品の  
外伝作品もあり!  
電子書籍でしか読めないライトノベル!

「小説家になろう」の男性向けサイト「ノクター」の男性向けサイトから書籍化!

姫騎士 クラスメイト!  
ビギニングノベルズ

異世界 珠姫  
デキる魔法  
ライトノベル

ドキドキラブな  
ライトノベル系  
ライトノベル!

二次元ドリーム文庫